



2015年7月31日号
夏季号

vol. 51

健康的な天然木材の床

フローリング・ニュース

発行所: 一般社団法人日本フローリング工業会
編集責任者: 広報法務委員長 石本勝範

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F
TEL 03-3868-0971 FAX 03-3868-0972 <http://www.j-flooring.jp/>



新たな需要開拓と普及を推進 副会長を5人体制にする



平成27年度通常総会を開催

(一社) 日本フローリング工業会は平成27年度通常総会を3月5日に東京都内で開催した。



久津輪会長の開会挨拶

2年前の同じ日に一般社団法人となり、早くも1期2年が経過した。我々業界が置かれている状況、またこの国の現状を見ると円安、株高と上向いているかに見えるが、これはごく一部の企業であって、我々中小企業は依然として厳しい状況が続いている。また、個人消費が伸び悩んでいることは、住宅業界、フローリング業界に携わる人は皆感じているのではないかと。ただ、先を見れば非住宅向けの需要もあるし、マンションの大型リノベーションなど、様々な分野で床業界が狙っていく市場がある。そのためには施工の安心・安全確保などを追及してフローリングに関する技術を向上させる必要がある。

直近の需要開拓もさることながら2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、当然大型木造建築も出てくるだろう。そうすると必ず木質フローリングの案件にも結びついてくる。当会には様々な部会、委員会があり、それを横断する木質フローリング検討懇話会もあるので、この組織を生かしてフローリングを全国に波及させたい。また、様々な部会、委員会があることを生かして、フローリング業界を発展させていきたい。



挨拶をする
久津輪光一会長



平成27年度の執行部体制

平成27年度から工業会執行部は支部長全員を副会長とする5人体制とし、新たに(株)平川木材工業社長の平川和彦九州支部長と中部支部長の入れ替わりに伴い、天龍プレパーク(株)大場晃社長を副会長に選任した。



平成27年度事業計画の概要

平成27年度は2015年版改正フローリング張り標準仕様書の発行に伴い、改正内容の周知を図る説明会を東京、大阪、名古屋で実施するほか、国産材仕様の住宅木造普及に連動した国産材ムクフローリングの需要拡大に向けた補助事業の実施、さらにはフローリング工事標準検査表の公共施設向けのチェックシートの策定などに取り組む。

国交省法定福利費講演会(施工流通部会)

平成 27 年 7 月 16 日(木) 開催

国土交通省の担当課の塩野課長補佐講演、45名参加

施工流通部会では、国土交通省が健康、厚生年金、雇用の各保険(法定福利費)について、2016年度を目途に事業者単位では許可業者の加入率100%を目指し2017年度以降は未加入者を現場から排除することにしており、床施工を生業とする会員にとって極めて重要であることから国土交通省建設市場整備課にお願いして、平成27年7月16日に東京、林友ビルにおいて全国から45名が参加する講演会を開催した。



講演される塩野進課長補佐＝午後 3 時 7 分＝

講演では、森施工流通部会長から床施工業界の置かれている厳しい状況について説明があった後、国土交通省塩野課長補佐から建設業の総合的な人材確保・育成対策、保険など未加入対策、法定福利費を内訳明示した見積書の活用等について説明があった。

講演終了後の質疑応答では、一人親方と保険のあり方についても質疑があり、一人親方は業界の中で必要な形態として認めたいと、必要な保険を掛けるべきとの指摘があった。

木質フロアに関連するトピックス 1

複合フローリングのフロア台板事情

インドネシア産のフロア台板は、14年10月ごろまでメランティー・オーバーレイベターが700ドル(C&F、立方メートル)前後で推移してきた。それが同8月下旬から急速に円安へ振れ、12月には月平均1ドル118円へと約15%も変動した。国内フロアメーカーの仕入れコストも急騰したため、年末からの新築着工減と合わせてフロアメーカーは産地への発注を手控えだした。そのためインドネシアの産地相場も14年末以降は続落し、6月末現在同品で610ドル～630ドル(同)前後の居所となっている。

その一方で同国産より割安なマレーシア・サラワク産が違法伐採規制による原木出材減で供給不安を招き、フロアメーカーはインドネシアに発注をシフトした。しかし、オーバーレイベターより品質を一段階引き下げたユーティリティベターのA品でさえ、品質がサラワク産と同等以上であるため価格も高い。上値の良品を作りたい産地と、できるだけ低コストでそれなりの製品が欲しい日本側とで綱引き状態だ。日本側は針葉樹台板への抜本的な転換に力を注いでいるが、まだ時間を要するためインドネシアに発注せざるを得ず、産地側も発注が埋まれば強気にもなる。インドネシア産オーバーレイベターの産地相場が下落した現在の相場でも、1ドル120～125円台なら国内価格は1700円～1800円(フロアメーカー着、枚)近くの高値張り付き状態が続く。国産針葉樹台板はそれより数百円下回るため転換の必要性は共通認識となっている。

フロアメーカーは品質検証を急ピッチで進めているが、採用に関する伸び悩み感がぬぐえない。「輸入南洋材基材に比べて普及価格帯製品の施工性や品質にまだ不安が残り、10年以上の経時変化も不透明」(商社)であるため、既存のフロア製品の9割とも言われる床暖房仕様が付与しにくい。この床暖対応次第で急拡大の可能性も高まるとされるが、フロアメーカーの顧客は南洋材と同等の品質を求めており、その品質担保が難しければクレームになりかねないことをフロアメーカーは恐れている。「どこかのタイミングで大転換し得るだろうが、それがいつなのか分からない。そのため既存製品の値上げが進まないフロアメーカーの採算性を圧迫し続けている。南洋材との違いを市場関係者全員が理解して落としどころを見つけなければならない瀬戸際まで差し迫ってきた。」(商社)(日刊木材新聞記事より)

千葉副会長が黄綬褒章受章

(株)大晃社長の千葉利男工業会副会長が工業会副会長及び理事、関西フローリング協会会長などの他、大阪府木材連合会の役職を通じて、長年にわたって木質フローリング施工業界の発展に尽力した活動が認められ、平成27年春の叙勲で黄綬褒章を受章されました。

(一社)日本フローリング工業会理事会では、これを記念してソーラー腕時計を贈呈しました。

千葉副会長は、理事会において「大阪府木材連合会の推薦によりいただいた黄綬褒章は身に余る栄誉であり、また日本フローリング工業会の理事の皆様全員からお祝いの記念品を頂き有難うございました。今後も引き続き床施工業界のために頑張ります。」と挨拶しました。



おめでとうございます!!

新規入会賛助会員の紹介

(平成27年7月17日の理事会承認)

賛助会員

藤本株式会社

住 所 : 大阪市淀川区西中島3-23-16
セントランドビル3階

T E L : 06-6838-0058

代 表 者 : 代表取締役
藤本貴昭

業務内容 : フローリングの養生材、緩衝材の
製造・販売

賛助会員

中国塗料株式会社

住 所 : 東京都千代田区霞が関3-2-6
東京倶楽部ビルディング

T E L : 03-3506-5877

代 表 者 : 国内営業統括部 工業営業部長
遠藤修

業務内容 : 塗料の製造・販売

木質フロアーに関連するトピックス 2

木材利用ポイントの対象工事終了

木材利用ポイントは、国産材を積極的に使用してきた工務店や地域ビルダーからは、おおむね好評だった。これまでの国産材仕様でポイントを獲得できる会社では使いやすかったようで、住宅会社大手の住友林業やアーネストワンが制度を使う仕組みを作り6000戸以上の実績を上げた。その一方で、手続きが面倒で煩雑な割には獲得できるポイントが少なく、またポイント交換商品の魅力が乏しいなどといった指摘もあり、さらには現場で施工する施工会社のメリットが無いことから、積極的に活用しない住宅会社もあった。

木材利用ポイントの効果は簡単に評価できないが、住宅会社が国産材を使おうとした矢先に桧土台等が高騰し、供給不足に陥った。そのため大手住宅会社を中心に国産材供給について、不安視することもあった。9月末着工をもって対象工事が終了したことで、杉間柱の需給が緩んできたという指摘もあり、国産材の需要拡大という点では効果があったようだ。

近畿・中国・四国支部だより

千葉 利男 近畿・中国・四国支部（株式会社大晃）

高野山開創 1200 年会場でお会いしましょう

私の会社は大阪府河内長野市、皆様ご存じの世界遺産・高野山のおひざ元です。

高野山まで南海電車で約 30 分、自宅近くからも標高 1000m の頂きを眺められたいへんありがたいことで何とも言えぬすがすがしさを感じます。

真言密教の道場として、西暦 816 年、空海が創建した「金剛峯寺」、そして、その寺を守るために創建した「慈尊院」も有名です。

去る、4 月 19 日主催 産経新聞社 協賛 総本山金剛峯寺が高野山大学「松下講堂」で世界の冒険家・プロスキーヤーの三浦雄一郎氏の「生きる力」の講演終了後、作家・真言宗僧侶（大僧都）の家田莊子さん【著書 極道の妻】高野山大学・真言宗僧侶のご両人のスペシャル対談に会場は大変盛り上がり約 1000 人の参加者はトークを楽しみました。

さすが世界の三浦雄一郎です。とても 82 歳とは思えぬ「肌と姿勢の素晴らしさ」は素人の我々が見ただけでもびっくりの一言、

2013 年にエベレスト登頂成功は世界を驚かせたが、登頂後、体調を崩し自分の食事はすべて自分で考えた栄養バランス献立で再起し、チャンス有れば四度目の挑戦をすると、目を丸くして語られていました。必ず成功する事でしょう！！

人生で 2 回の生死をさまよった三浦雄一郎氏と「修行の世界にまっとう」家田莊子ご両人はどこに、そのパワーが潜んでいるのか気さくなパネリストでした。

さて、今年の高野山は開創 1200 年のイベントで毎日、信者・観光脚・外国人で湧いています。一番のお奨め所は弘法大師の聖地と言われる「奥の院」参道、戦国武将の石塔が 2 キロに渡り続き、参道には樹齢 100～150 年の直径 1.5m 前後の「杉の太木」に囲まれ神秘的な雰囲気「まさに日本人」の「原点の聖地」としか思えぬように思います。

是非、この様な所で業界の方々との接点をもつ機会を切にご期待します。

ひとこと

千葉 利男 近畿・中国・四国支部（株式会社大晃）

去る、7 月 8 日（水）に、一般社団法人日本フローリング工業会 生産部会と関西フローリング協会恒例の合同 P R を実施しました。

出席者は生産部会員 9 社・関西フローリング協会員 13 社で対応しました。

報告会開催挨拶に関西の梅雨明けの暑い中、陳情 P R にご参加の皆様大変ご苦労様と工業会久津輪会長よりねぎらいの言葉で熱のある報告を各班長より発表された。

その中で官公庁の文教施設課の若い担当者とお話ししたところ、天然木フローリングの製品とオレフィンシートフローリングと同じ感覚に思っている様でその物も知らないと言い、愕然とさせられる状況の報告を聞きました。世の中にあまりにも物があふれ、本物とそうでない物の感覚がマヒしているのでしょうか。

ア～、大変な時代に突入してしまったのかな～？？？

と「ひとりごと」を言っていました。「時代の変化」と言い訳してはダメだと思います。

私たちは木材の専門職として、「市場動向のニーズに合った新たな製品 P R ・市場の開拓」をメーカーと共に取り組み、木材製品の拡販に向けて足を運ばなくてはと反省します。

決して先輩たちの培った足跡を消滅させてはいけません。



●広報法務委員連絡先

委員長	石本 勝範	06-6538-7221
委員	松原 輝和	0123-72-1223
委員	矢野 伸和	047-353-2100
委員	佐藤 正明	0547-45-2174
委員	當舎 弘造	072-276-1600

●告知板

10 月 15 日（木）	・・・平成 27 年度施工流通部会総会
11 月 5 日（木）	・・・平成 27 年度生産部会総会（札幌）
11 月 11 日（水）	・・・関東甲信越支部仕様書講習会

●会員動向 平成 27 年 7 月 31 日時点

正 会 員	54 社
賛助会員	21 社
合 計	75 社

会員会社の広告

掲載したい会員会社の方は、
広報法務委員までご連絡をお願いします。

編集後記

林材新聞社への外注を取り止め、事務局が記事を書くこととして 3 年が経過しました。1 年に 2 回のフローリングニュースの発行ですが、会員の皆様に出来るだけ身近な工業会関係記事をお届けしようと思っています。フローリングニュースに掲載してほしいニュースがありましたらお知らせください。

